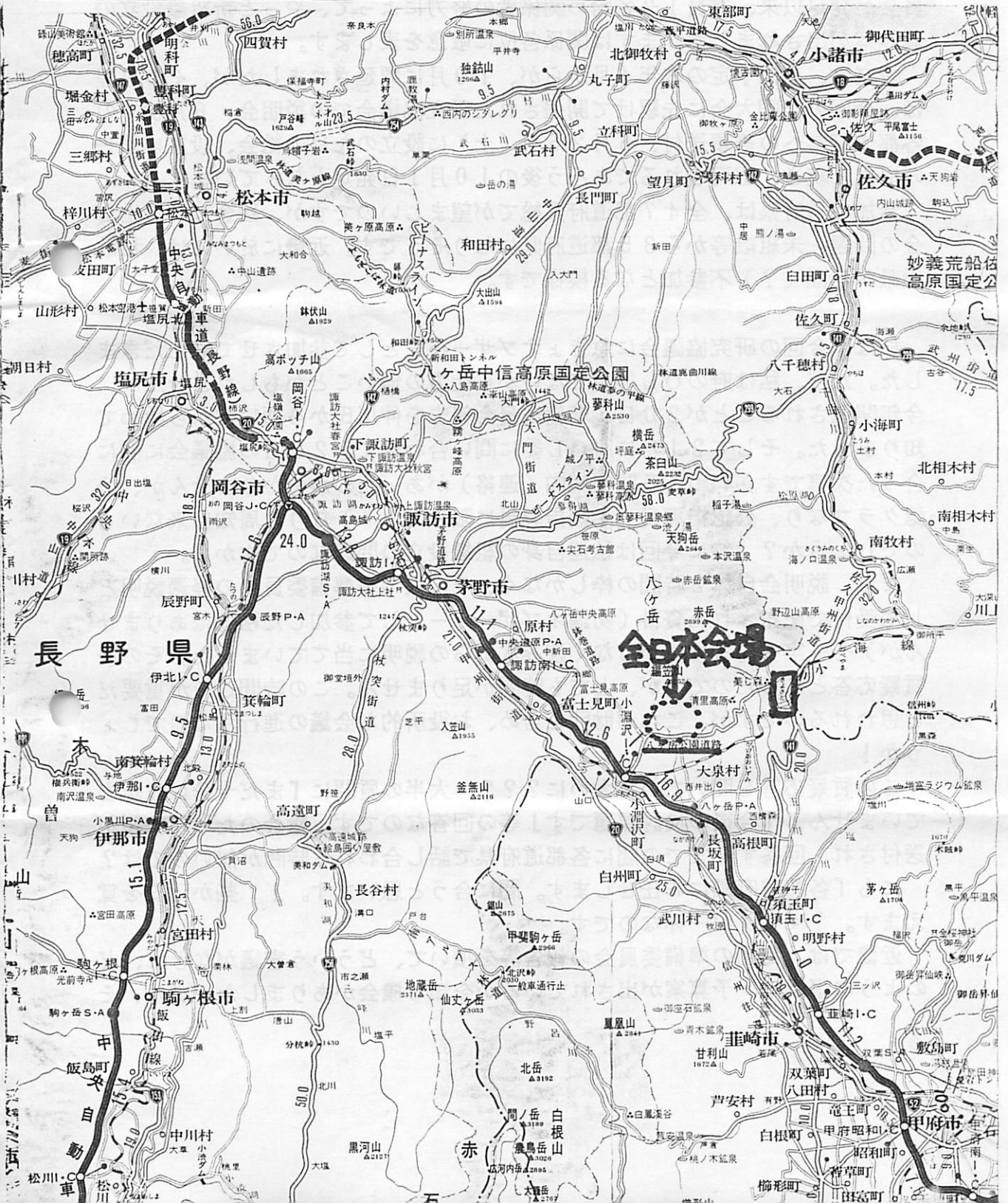


# KOLA

岸和田オリエンテーリング協会

編集部・  
岸和田市西之内町508  
1988 寺田 保  
第61号 (S63) 4. 29



# 懇日本OL協会（JOA）設立？！

昭和62年3月の全国指導者研究協議会に於いて、新全国組織設立の準備委員会が発足以来、委員12名始め関係者の努力によって、やっと新組織設立の具体案が出されました。まずは関係各位に敬意を表します。

設立は、当初予定の本年4月からが、10月に順延されましたが、その日程は、今回の全国大会に先駆けて開催された研究協議会での説明会、6月初めの各都道府県への書類送付、6月25日（土）に設立のための総会、設立申請書の提出と続き、認可されるであろう後の10月1日発足となっています。

参加都道府県は、全47都道府県総てが望ましいのですが、残念ながら出資金の問題、未組織等から35都道府県になりそうです。近畿に於いては、和歌山県が当面（？）不参加となる模様です。

私は、今回の研究協議会に急きょオブザーバーとして参加させていただきました。ただ、私は府のOL委員でないから仕方の無いことかもしれませんが、今年開催されることが20日、準備委員会報告を仲川氏から頂いてから始めて知りました。そして21日に府OL委に問い合わせ、23日の協議会に間に合った次第です。いづろ開催案内（連絡）があったのか分かりませんが、公認クラブなり、公認指導員（1級指導員に限っても…）なりに周知出来ないものでしょうか？特に今回は私達自身の組織設立の問題なのでありますから。

また、説明会自体2時間の枠しかなく、その大半を準備委員会の経過説明として受付で配布された資料（勿論オブザーバーとして参加した私達はありませんが）を一字一句まで抜かりなく読みながらの説明に当てていました。その後質疑応答となったのですが、とても時間が足りません。この時間こそが重要だと思われるのですが、これが財団を含め、お役所的な会議の進行法なのでしょうか！

この質疑応答を聞いていて大いに？？？ 大半の質問に「まだ十分に煮詰まっています」「今後の検討課題です」等の回答なのです。総会のための書類が送付され、回答するまでの間に各都道府県で話し合われる時間が無いのでは？

にも「各都道府県にお任せします。間に合うと思います。」些か不安を覚えます。？マークが一杯なのです。

近畿では、毎回の準備委員会の報告等を頂いて、どういう審議がなされ、どのような事業案、予算案が出されているかを知る機会がありました。また、そ

の案に対して、準備委員である仲川氏に意見、提案等を出す道も付けられていました。が、今回のように最終案に近いものが出され、全国の指導者が一堂に集った機会にこそ細部に渡ることでも質疑応答が為されるべきではなかったかと思われます。

さて、今回の案の中で私達に直接関連してくる問題（勿論、新組織全体がそうなのですが…）の中で、まず一点確認したいことがあります。予算案の中で示された登録料に関することです。一つはクラブ登録料、一つは指導員登録料、そして選手登録料と有ります。それぞれが必要なのは分かりますし、指導員登録料が値上げされるのもやむを得ないかも知れません。選手登録料はE・Aクラスの選手対象になっているので、これも妥当な物でしょう（ただ、年間2,000円は高いかと思えます。）では、それぞれの関連は？ 都道府県組織の中で公認クラブの位置付けは？ 指導員としての義務、権利若しくはメリットは？ 選手登録している方の、各大会参加の際の参加料は割り引きなどの特典は？ 指導員と選手の重複登録になるのでは？ どう考えますか？

それから、都道府県組織のみを正会員とする組織に、学生連盟の位置付けをどうするか？ 役員、理事の選出、選考をどうする？ 組織事務所に常勤役員の方の報酬は？

多くの？ですが、設立までに解決しなくては成らないものも有りますし、設立後の新組織の中で検討していく？も多く有ります。OL活動をしていくうえで全国組織はやはり必要なものです。また、まだ委員会の形のある今でこそ、設立のできるチャンスでもあるでしょう。各準備委員会の委員さん達の努力で、ここまでして頂きました。これからは、いままで以上に私達が積極的に意見を発表し、提案をして行動を起こしていかななくては成らないでしょう。それが、私達のOL活動をより楽しめるものにつながりましょう。

新組織に関する意見、提案等は、会長の所まで言ってきてください。仲川氏を通じ設立準備委員会に進言していきたいと思えますから。

「瀬戸 照久」



## 武田信玄 と 清里 と ハヶ岳 と ..

4月24日に開催された第14回全日本OL大会、気候の良い頃の開催に加え、今話題の武田信玄縁の地でもあり、宿泊予定があのかの(どの?百恵ちゃんのペンションで有名になった?)清里となりゃ、これは行く前から楽しみ!

22日深夜、正確には23日午前1時頃“名神高速大津サービスエリア”でOLC吉備路のメンバーと合流。近ごろはいつも行動を共にさせてもらっています。余談ながら当方は、吉備路をKOLA吉備路分会と称し、吉備路においては当方を、吉備路の岸和田支部と称して冗談を言い合っていますが、何分数で圧倒されています。体重と貫禄?では勝っているのですが、KOLA会員諸君、人数でも対等以上に成るようグアンバッテクレー!!!

さて話しは本筋に戻して、大津SAで朝まで仮眠を取った後、運転者を何度か交替しながら一路中央高速の小淵沢ICを目指します。時速は平均100Kmを越えるのでは有るまいか、脅威的です。安全運転を願います! 小淵沢に到着後、観光組・観光後トレコース組・直接トレコースへ後会議参加組とに分かれ清里の宿舎で合流することにします。私達は直接組、の予定だったのですが信玄ロケ地・本陣セットが通り道にあたるので見学に加えました。町が費用を出して作ったとか、これがテレビで壮大な時代劇ロマンを作り出しているのですね。と感心しきり……ところでテレビで“武田信玄”を見たことの無い者ばかりだったと言うのがオチとなって、いよいよ泉郷のトレコースへ。

会議までの時間が、30分から1時間しかなく全20ポストのところ6ポストだけ廻ってきました。テラインの状態、ポストの設置状態、足の状態等を確認できるので今後も、トレコースがあれば一度廻ってみるのをお勧めします。会議については、別の項で書いていますので参照下さい。

会議の後、宿舎のある清里へ向かったのですが、ハヶ岳公園道路から清里の町へ入った途端“ソー!”と言うか“プッ!”と言うか目を見張りました。と言うのも、まるで遊園地のおとぎの国、通りに面した所だけでしょうが本当に面白いし、見ていて楽しくなるところですね。

その晩は、軽〜く宴会をば楽しみまして、途中雪がチラつきだしたのには少し驚いたり、やっぱり?と感心したりして一日が暮れていったのです。22日の出発から、柔らかいフトンの上に来るまで疲れしました。私にしては早めに寝入ったのですが、翌朝目覚めると覚えのない部屋に居ました。寝たもの勝ち! 豪快なイビキに対してのT. T氏(そういつもの兄ィ?)の自衛手段だったそうです。さあ、24日は快晴! 全日本H35Aに挑戦!!!

# H 3 5 A ハヶ岳

瀬戸 照久

ハヶ岳山麓、観音平を中心としたテライン。デコボコの牧場地を会場にした今年の全日本O.L大会。やはり関東の地、植生状態の良いところ。走れるかどうか？ マップリーディングによる現在地の確認ができるか？ などなどスタート前の緊張感を楽しみます。 10:34:00スタート！

△→①へは、東の道へ出て北上、岩の川？をチェックしてから歩則後、岩石地の北側でパンチ！ ②へはコンパスを当て直進、防火帯、水系がチェックになり簡単にパンチ！ ③へも直進。④へも直進を狙うが距離が約1Km。途中の線状特徴物がチェックポイントになり、進行方向右へずれるクセを見越して左にエイミングオフしながら直進。ポスト近くの水系にでて狙い通りパンチ！

このコースで最大のミスを次に起こしました。④→⑤へも直進を狙うのですが、道を通過後岩ガケに到着。昇り下りを避けようとコンタリングを開始、防火帯を通過後、尾根、沢に注意してアタック！…が無いのです。下過ぎたのかと北部へ進んでも無し、もう少し東へ進み大きな沢で現在沢を確認、再アタック！でも無し。ここで地図の上部に出ているのでは、と考え直して南下して再度大きな沢からコンパスアタック！やっとパンチです。実はゴール後よく見ると、最初防火帯と思っていたのは伐採地だったのです。この辺の色合いは再考してほしいと思いますが。また、このアタックに至るまで吉備路（日鉦水島）の中尾氏と二人になり、中尾氏との相談？によって30分位のロスで済みました。いつもの思い込みの激しい私のこと、大々爆発の可能性だったのですから感謝！感謝！？

⑥はすんなりパンチ！ ⑦へが直進をさけて西側の道を利用してアタックの予定で、防火帯でチェック。のつもりがさっきと同じ、伐採地だったものからオーバーランして南のU字カーブまで行ってしまい、引き返してパンチ！

⑧へはマークルートなのか、テープが進行方向に。ほぼ直進にてパンチ！

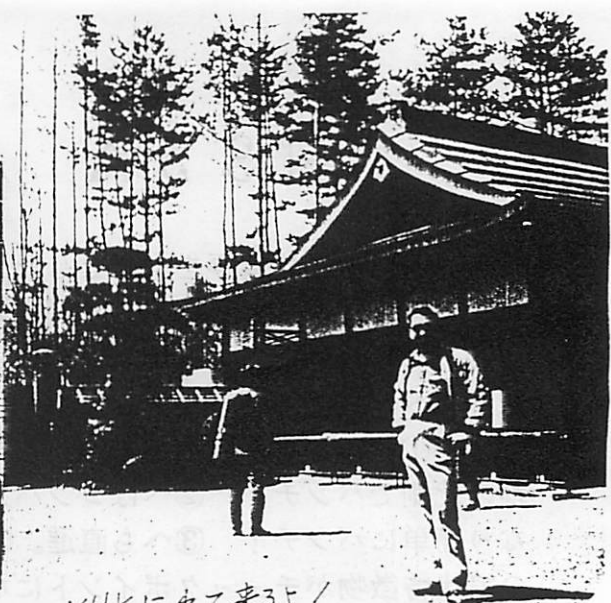
⑨この辺でもう走れなくなってきたこともあり、少しバックして防火帯を歩き、しっかりと給水所で補給！ここからコンパスで直進狙い、そしてパンチ！

⑩へも簡単に直進パンチ！ ⑪ ⑫ はみんなの流れによっていけばOK！最後ゴールレーン端に有る⑫をパンチ後、気力を振り絞り全速力でゴール！の予定が、牧草地のデコボコに足を取られバランスをくずしながらのゴールとなった次第。タイムは自分の時計で 2' 09" 07。ロスが多かったがまずまずか。3月に足を傷めてからのぶっつけ本番ではね。





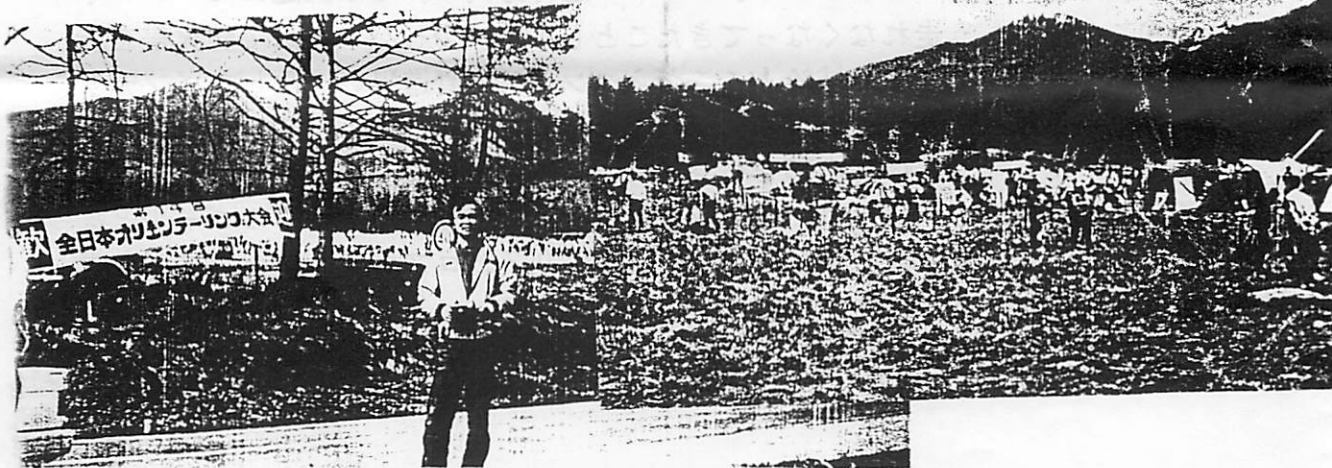
中井貴一にほど遠い



NHKに出て来るよ!



腹が空過ぎては。




山梨県 大泉村、八ヶ岳、富士の裾野を思わせる高原の地である、黒い火山灰、空松林、白樺の木、岩がゴロゴロ特長物の少ない我が地に欲しい代物である。信州の別荘地、「泉郷（別荘）センター」着、さっそくトレーニングコースを回る。

始めは道路を通ってポストをめざすが、道路など走る必要はない、林の中は落ち葉や、枯れ枝をボリボリ踏んで先を急ぐ。地図は大部分が白（走行可能）所々薄緑（歩行可能）があるが、大して区別の付くものでもない、しいていえば2.30cmほどの笹と小木が密生している程度、関西では真っ白けも白の白。直進で5m~7mはずれるが、ポストが目飛び込んでくる、楽なものだ。だが、直進の欠点は幹をよけるフットワークと、谷~尾根~谷底と体力がいる。

途中、のんびり気分で小道を歩いていると、顔見知りの人に声をかけられて、同行する。濃い緑が現地と合わない、二人で前後を確かめてみる、どうも下枝が多く、藪が少し絡んでいるかららしい。（関西では白だろうな！）

3時すぎ試走を終えてもどる、瀬戸氏はすでに帰って会議に出ているらしい、先の岩井さん（和歌山から埼玉へ転勤している）に誘われて、レストランでビールを飲み交わす、話を聞いていると、同じH40Bに出るらしい、なかなかの強豪である。

前日の小雪がうそのように晴れ、少し風がきつく肌寒さも感じるが、牧場広場に、横断幕や大テントが並び、クラブテントが賑やかだ、その奥は空松林、遠景には白い雪の頂いた八ヶ岳、振り向けば 甲斐駒ヶ岳の白い峰々。空気がどこまでも澄んでいる。

各コースのポスト位置説明を見てびっくり、1番から8番まで全部▲、9、10は 、それと9番~10番までは600mの誘導テープ、10番~ゴール100mの誘導テープ、（後で分かったがM1~M4にと各クラスごとに計測する為だった）。

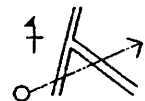
11時23分 余りにもスタートが遅いため、他の人は全部出発してしまい、1人テントに取り残され、早めではあるがスタートへ。いつものあの緊張はない、いがいに冷静だった。

スタート直後 道へ出て、快調に走るが長い坂、息を切らして地図を眺めて歩いていた。ふと顔を上げるとテレビカメラがこっちを向いている、おもわず息せき切って走りだす。1番ポストは防火帯横の岩、体力、走力、登坂力が必要だがテクニックが要らないなあ。

2番ポストへは、次の防火帯、地図を見るかぎり簡単。森の中は藪や小さい岩がゴロゴロ歩くにも間々ならない、おまけに先へ行くと急な登り、ああ失敗したかな！人影が尾根近くに見え隠れするようになる、やれやれ。ポストじたいは原っぱの真ん中にあるようなもので防火帯の中央にあった。

3番、4番、5番はスムーズにチェック出来る、しかしあちこちの岩影にポストがいくつもちらつく、何個も外のポストを見物に行く。

6番へは防火帯を2回斜めに横切る、先の防火帯と頭の中で混乱して、方位を見失いそうになった。何人か先を走っていたので助かった。



6~7番、8番は直進でポスト間も近い。ラスト9番までは藪を走る。思うように進まない、後で思ったが、有刺鉄線をとびこえ牧場内に行くほうが早く走れた、現に数人が走っていた、気づくのが遅い。自分の時計では、1時間10分前後、予想目標と一致、満足である。帰りを急ぐため、速報が間に合わなかった。

# テーピングなるもの！

近ごろのスポーツ会場で多く見受けられるテーピング。勿論OL大会会場でもテーピングをしている人が多くなってきました。

そこで私達も、遅ればせながらテーピングなるものを知っておきましょう。

「テーピングとは、粘着性テープやバンデージなどを、身体各部の大きさや形状に合わせて巻くことであり、関節、筋肉などを補強、支持することにより、ケガの予防、再発の防止などを目的として、テープを巻く方法のことである。

だから、何を目的としてテーピングを施すかによって技法も異なってきます。

テーピングの目的として、①外傷の予防。②再発の防止。③応急処置。④リハビリテーション。⑤治療としてのテーピング。になります。

よって私達は、①～③の目的によってテーピングをします。

①外傷の予防にも、その外傷の種類により異なります。

1) 骨折《骨の連絡が完全または不完全に、連絡性を失った状態》

テーピングは禁物！

2) 脱臼《関節の生理的位置に種々の外力が加わり、関節頭が関節窩から逸脱したもの》

テーピングは、習慣性の脱臼に対して有効である。

3) 打撲《外部からの強い力で打ち付けられた時に、皮膚表面に傷がなく、皮下組織に傷がついたもの。》

4) 捻挫《生理的可動域以上の動きを強制された時に起こるもので、関節包や靭帯などの軟部組織が損傷するもの。》

5) 肉離れ《筋肉を過度に伸ばしたり、急に力を入れたりした時に、筋膜、または筋線維の一部が損傷したもので、運動中に急激な痛みとともに、機能障害がおこる。》

以上のように、外傷にも各種の種類があり、テーピングを行う前にその部位の状態、外傷の程度、目的を把握し、テーピングが可能かどうかをチェックし、その目的に応じたテーピングの方法を選択する必要がある。

私達は、受傷直後の応急処置としてのテーピングには、非常に難しく、正確な判断が必要になるため、軽症、重症に拘わらず医師の診断を受けることにすることが一番です。

たかがテーピングと言う勿れ！ 正確な知識を持つために、次号に続く！？

テーピング前のチェックや、処置、テーピング後のチェック等を予定。



## S 6 3 年 度 総 会

去る4月16日(土)、本年度の総会が開催されました。4月10日(日)の予定が、岸和田城400年祭の行事とぶつかり欠席者が多くなったための順延でした。

総会では活動報告、会計報告と共に、賛助会員てきな制度が作れないかとの提案があり審議しました。『今の競技OLについていくのは体力的にもしんどいし、主にトリムOを楽しみたい』『何も分からずに入って、すぐ運営、会議と戸惑いを覚えます。』との主旨に対し、

- 1 : 今の当会の人数では、制度をつくるのは無意味だ。
- 2 : 新人に対しての、指導トレーニングを考えなおして確実に行う。
- 3 : 会自体の運営をもっと分担してスムーズに行う。

として、会則の変更無し。役員改選に入りました。立候補者、推薦者等事前をお願いしていたのですが無く協議の結果、幹事2名の仕事等の都合で継続出来るかを確認して、全員留任することとしました。

私達自身のクラブなのですから、全員が積極的に活動していただけますよう改めてお願いしておきます。

その後、第5回ウエスタンカップリレーOL大会について。活動方針について。行事計画について。予算案について。その他について協議しました。

ウエスタンカップリレーOL、行事計画については後記に記載します。

本年度は私達にとって、今まで以上に大事な年度となりそうです。かと言って特別なことを会員の皆さんにお願いするものでは有りません。一つはオリエンテーリングをもっと楽しんで下さい。OL大会に参加せずして、何が面白いのですか？ 始めはトリムOでも結構です。そのうち走ることが面白くなります。私達は参加したい方々のお手伝いをしますから、声を掛けてください。

また、今一つは自らの意志で加入したクラブですから、積極的に運営等に参画して下さい。そして、出欠の連絡始めしなくてはならないことはして下さい。趣味の会だからこそ、自分の言ったことに責任を持つ必要があると思いますが。また役員としても、趣味の会だからこそ強制する訳にはいかず、するべきでもないと思っています。会員各位の自覚にお願いするものです。

## 第5回

# ウエスタンカップリレーOL大会

1989・2月～4月実施

会場に予定している所と交渉中の為、日時の確定は7月の近畿OLC連絡会までに行います。既に地図調査等を行っており、今後運営マニュアル等を作成し、各セクション毎に役割分担、いかに少ない人数で最大の盛り上げが出来るか、創意工夫を加えていって行きます。

各オリエンティアの皆様で、運営を手伝ってやろうという個人のご協力をお願いします。(近畿全クラブが参加出来るように、クラブとしてではなく個人としています。)

KOLA会員諸君! 近畿各クラブで当会を知ってしてくれるクラブの中で弱小クラブとし、実力のないクラブとして大会に期待できないと思っている所もあるようです。確かに人数は少ないかも知れませんが、全員の力を結集して成功に努力しようでは有りませんか!

## 今年度活動予定

S63・6月18日～19日 3級公認指導員養成講習会

7月16日(土) 中央公園ナイトOL(リレーになるかも?)

主担 寺田 強 《地図作成も》

秋頃 日程未定 Ctiy-OL大会

S64・1月 3日(火) 89"新春大会 場所未定

1/8予定でしたが、毎年3日に固定しようとの決定です。(主担未定)

ウエスタンカップ関連 主担 瀬戸 照久 《地図作成も》

夏までに 第1次地図調査および作成《縮尺1:10,000》

秋 に コースセッティング開始、第2次地図調査および作成

冬季 に コース確定、試走

2月～4月 ウエスタンカップリレー大会

『地図作成予定』中央公園・ウエスタンカップ・日根野上之郷・末広公園予定

## 5月3日 公認 丹波OL大会

### 4日 丹波リレーOL大会

近畿内でのビッグ大会です。岸和田からでも片道2～3時間で行けます。  
KOLAの黄色いユニフォームで、会場を明るく(?!)しよう!

## 6月18日(土)～19日(日)

### 3級公認指導員養成講習会

南大阪では約10年ぶりです。この機会を利用して是非とも受講して下さい。  
特に、KOLAの会員の方で未受講の方は全員都合をつけて受講して下さい。  
※尚、要項の配布が遅くなりましたので、4月末日締切予定を5月15日頃迄  
受け付けますので、早めにご連絡下さい。

## 10月末日頃 府民OL大会 =箕面市にて=

特にこの大会は、府下全OLクラブの合同実施となります。現在実行委員会  
を組織して、実施に向け鋭意努力を重ねております。実施当日には、当会から  
も運営協力の数名が必要に成りますので宜しくお願いします。

当会からは実行委員として、寺田 保氏・坂本 晴文氏が参加しています。  
実行委員会競技部 部長 愛場 庸雅氏(OLCレオ) ※寺田 保氏  
" 会場部 部長 大西 良則氏(大阪OLC) ※坂本 晴文氏

---

## 5月定例役員会

5月6日 午後7時30分～ 喫茶 み き ☎39-5205

- 1: 担務分担について
- 2: ウェスタンカップリレーOL大会について
- 3: 3級指導員養成講習会について
- 4: 中央公園ナイトOL大会について
- 5: JOA全国組織設立問題について
- 6: その他

以上 ※※※※※※※※





# 観音平

## 第14回全日本オリエンテーリング大会

兼国際オリエンテーリング大会

山梨県北巨摩郡長坂町・小淵沢町  
長野県諏訪郡富士見町

1988年(昭和63年)4月24日(日)

山梨県知事 望月幸明 書

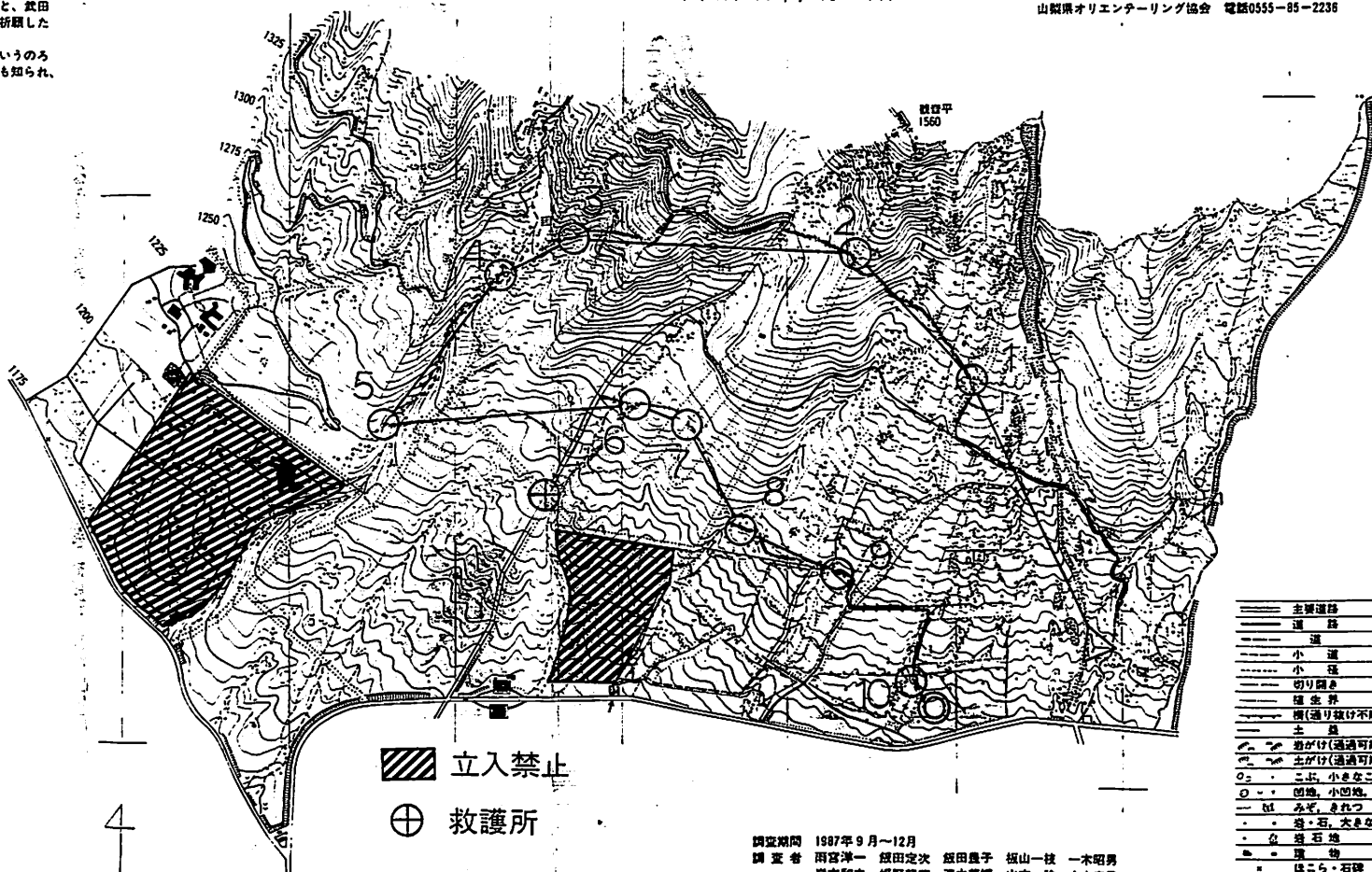
「観音平」は、甲斐源氏の始祖源頼朝三郎義光が創建した観世音  
矢の堂があったところから名づけられた。故事によると、武田  
信玄も出陣のおり、ここに先祖の墓をまつり、戦勝を祈願した  
という。

徳富蘇峰軍の観音碑が建つほか、武田軍団が使ったというろ  
し台が残っている。また、ヒカリゴケの自生地としても知られ、  
6月中旬にはレンゲツツジの大群落が美しい。

ゲレンデの大半を占める山梨県有林への立入りには、事前に県有  
林内入山許可申請書を提出し、許可を得ること。  
問合せ先：山梨県森林事務所 管理課 電話0551-22-1131  
山梨県オリエンテーリング協会 電話0555-85-2238

17

H40B, H45B		5800	
1	227	▲	2.5
2	236	▲	1.0
3	244	▲	1.0
4	248	▲	2.0
5	268	▲	1.0
6	280	▲	1.0
7	282	▲	0.5
8	299	▲	1.0
9	334	■	—
○---600--->○			
10	M3	■	—
○---100--->◎			



立入禁止

救護所

縮尺 1:15,000

等高線間隔 5m



調査期間 1987年9月~12月  
調査者 雨宮洋一 飯田定次 飯田豊子 坂山一枝 一本昭男  
岸本和之 坂野龍英 清水智博 山本 隆 山本麻子  
釜沼徳美 佐野 登 中島初美 磯下清敏 弓削温夫  
小佐野重彦 加藤長平 宮田光正 樋口盛路 山川克則  
木内仁志 小泉辰喜 河野 宏 白戸秀和 鈴木勇樹  
高橋智広 芳賀和郎 松井 忍 宮田勝恒 宮松慎子

製図者 宮田勝恒 鈴木勇樹  
印刷 SUN印刷通信 1988.4.18000

山梨県オリエンテーリング協会  
日本オリエンテーリング委員会

———	主要道路
———	道 路
———	道
———	小 道
———	小 径
———	切り開き
———	雑 草
———	崖(通り抜け不能)
———	土 壁
———	岩がけ(通過可能、不陸)
———	土がけ(通過可能、不陸)
○	こぶ、小きなこぶ
○	窪地、小凹地、穴
———	垣、柵、きれつ
———	池、沼、石、大きな池、石
———	倉 庫、石 地
———	土 庫
———	墓 石、石碑
———	小川、せき
———	湧出の水路
———	野水池、湧水点、小きな池
———	クリアリング
———	牧 場
———	立入可能を除いた土地
———	種林地・伐採地・防火
———	実行可能
———	歩行可能
———	通行困難

# 観音平

山梨県知事 望月幸明 書

「観音平」は、甲斐源氏の始祖新羅三郎義光が創建した観世音  
 矢の堂があったところから名づけられた。故事によると、武田  
 信玄も出陣のおり、ここに先祖の霊をまつり、戦勝を祈願した  
 という。  
 徳富蘇峰筆の観音平が建つほか、武田軍団が使ったというのろ  
 しが残っている。また、ヒカリゴケの自生地としても知られ、  
 6月中旬にはレンゲツツシの大群落が美しい。

## 第14回全日本オリエンテーリング大会

兼国際オリエンテーリング大会

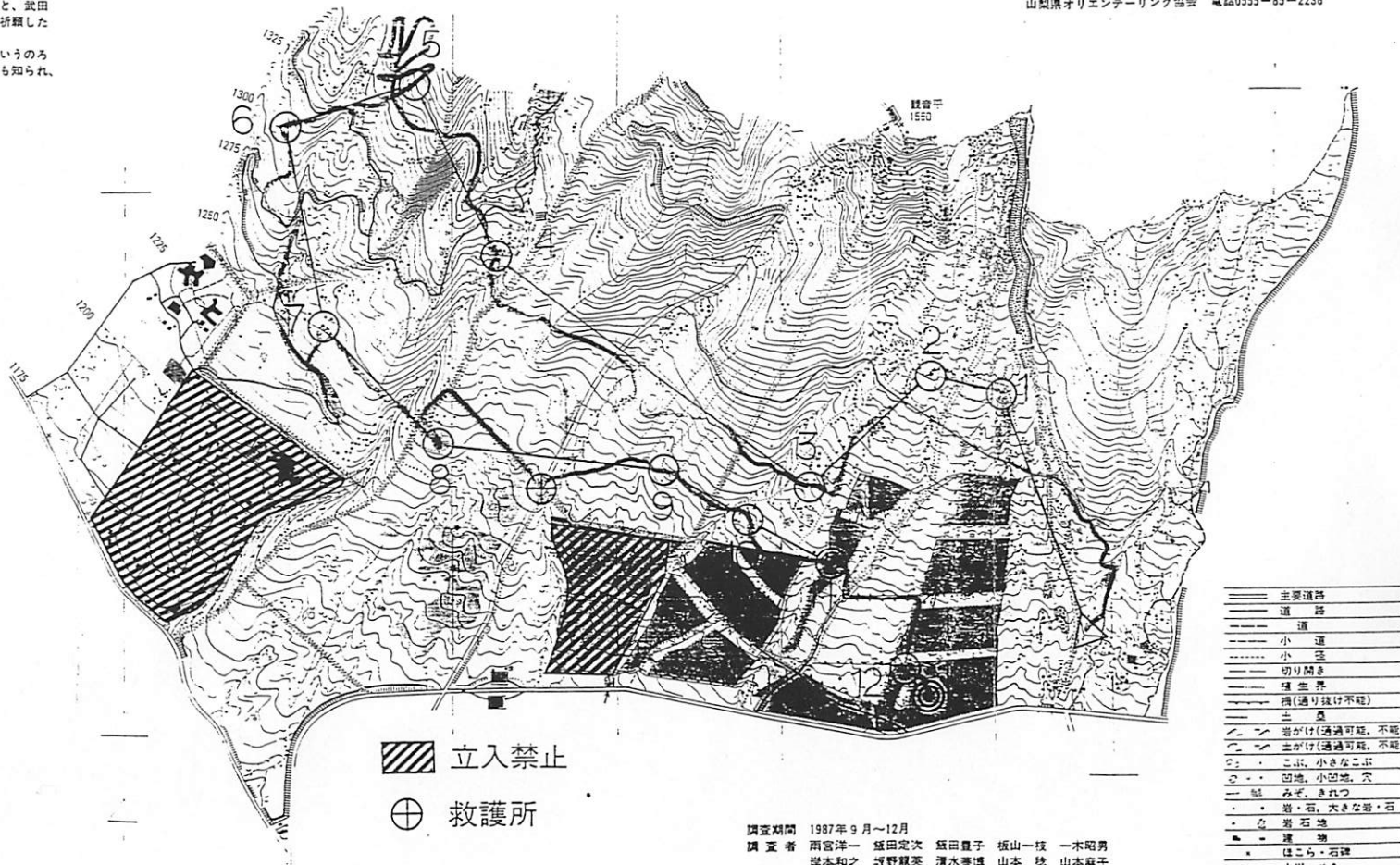
1988年(昭和63年)4月24日(日)

## 山梨県北巨摩郡長坂町・小淵沢町 長野県諏訪郡富士見町

ゲレンデの大半を占める山梨県有林への立入りには、事前に県有  
 林内入山許可申請書を提出し、許可を得ること。  
 問合せ先：山梨県森林事務所 管理課 電話0551-22-1131  
 山梨県オリエンテーリング協会 電話0555-85-2236

⑥

35A, H17-18A		7200	
1	224 ↓ ▲	2.0	○
2	223 → ▲	1.5	○
3	294 ▲	2.0	○
4	247 ㄥ ▲	2.0	○
5	256 ▲	1.5	○
6	261 ▲	1.0	○
7	267 ▲	3.0	○ 人
8	271 ㄨ ▲		▽
9	286 ↗ ▲	1.5	○
10	300 ▲	2.0	○
11	334 ㄥ		
○ --- 600 ---> ○			
12	M1 ㄥ		
○ --- 100 ---> ○			



立入禁止

救護所

縮尺 1:15,000

等高線間隔 5m

調査期間 1987年9月~12月

調査者 兩宮洋一 坂田定次 坂田豊子 板山一枝 一木昭男  
 岸本和之 坂野親英 清水善博 山本 徳 山本麻子  
 室沼佳美 佐野 登 中島初美 轟下清敏 寺前達矢  
 小佐野康彦 加藤長平 吉田光正 橋口星路 山川英樹  
 木内仁志 小泉啓喜 河野 宏 白戸秀和 鈴木秀樹  
 高橋智広 秀賀和郎 松井 忍 吉田勝雄 吉松種子  
 製図者 吉田勝雄 鈴木秀樹  
 印刷 SUN印刷通信

1188 4 15000

山梨県オリエンテーリング協会  
 日本オリエンテーリング委員会

- 主要道路
- 道 路
- 道
- 小 道
- 小 径
- 切り開き
- 種 生 界
- 橋(通り抜け不能)
- 土 農
- 岩がけ(通過可能、不能)
- 土がけ(通過可能、不能)
- 小池、小さな池
- 凹地、小凹地、穴
- みぞ、きれつ
- 岩・石、大きな岩・石
- 岩石地
- 建物
- 住こら・石碑
- 小川、せき
- 季節的水路
- 貯水堰、湧水点、小さな
- クリアリング
- 牧草地
- 立入可能な開けた土地
- 種林地・休耕地・防
- 走行可能
- 歩行可能
- 通行困難